

議会改革度ランキング 2023

県内3位、九州11位、過去最高順位の全国123位に

○議会改革度ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所が議会改革度の状況について共通指標を用いてランキング化するもので、全国全ての地方議会を対象に実施、今回の調査では全国1,788議会ある中、1,562議会が回答した結果です。

調査は「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の3つの分野の評価点数の合計で様々なランキング評価がされます。

○別府市議会の改革の特徴

- ・令和5年度から正式に議員タブレット導入しデジタル化、ペーパーレス化を推進
- ・市民と議会との対話集会では、学生から各市内団体との意見交換を実施
- ・災害時の議会対応に関する内部規定の制定等の取組
- ・議会活動及び議員情報メニューの追加等の実施

○過去最高順位の全国123位に

別府市議会は、今回の調査で全国123位となり、2010年の調査開始以降、これまで247位（2016年調査）が最高でしたが、昨年の563位から123位と大幅に順位を上げ、過去最高の評価結果となりました。

別府市議会 議会改革度調査2023 結果



全国総合 123位
 得点：1,555点/8,665点
 (全国平均：800.9点 最高点：3,740点)



県内総合順位 3位

自治体区分内※順位
69位

※全国「一般市」内での順位

分野別順位・得点

《情報共有》

全国順位 263位
 県内順位 1位
 自治体区分内 165位

《住民参画》

全国順位 126位
 県内順位 2位
 自治体区分内 67位

《機能強化》

全国順位 127位
 県内順位 2位
 自治体区分内 73位

令和6年度も、引き続き市民に開かれた議会の実現を目指して、議会改革の取組を進めてまいります！